

25B06

植物動物観察入門・秋冬（後期）

関連する SDGs :



申込フォーム

スマートフォンからも
お申込みできます

期 間：2025 年 10/3（金）～11/28（金）[全 5 回]
 場 所：尚綱学院大学 カモシカルーム
 〒981-1295 名取市ゆりが丘 4-10-1
 時 間：13:30～15:00

定 員：15 名
 最少催行人数：8 名
 受 講 料：6,500 円

対 象 者：子ども時代のように、自然の中で事象を発見・分析しつつ学びたい方へ
 教 材：各回講義で資料を配布いたします
 修了要件：80%以上出席した方に修了証を発行予定

受講生へのメッセージ

★☆☆（レベル1：初級）

秋になると草木は種類に応じていろいろな種子を着けます。それらは子どもたちの多彩な玩具にもなります。種のバリエーションにはどのような意味があるのでしょうか。その答えは、子どもたちがするように、遊んでいる内に答えは見つかります。自然は秘密を聞いても教えてくれません。打ち解けて気持ちが一つになった時、自然は語ってくれます。野外で、あるいは実験室で、観察しながら謎を解明してゆきます。野外散策可能な服装でご参加ください。

日程	テーマ・内容	講 師
第 1 回 10/3	動植物の観察方法・標本作成 理科の授業を思い出して、身近な植物や昆虫を観察してみます。また昆虫標本や腊葉標本についてもお話しします。	山崎 裕 尚綱学院大学 客員研究員
第 2 回 10/17	多様性の生物学よもやま話3 里山内では、動植物が数百年間変わらずに相互関係を維持しながら、ヒトとも関わりを持ちつつ暮らしています。秋の彼らの様子を覗いてみましょう。[「尚綱の森」散策：雨天変更]	
第 3 回 10/31	高館千貫山の自然・秋冬 「尚綱の森」を入り口として、名取市に棲息生育する動植物の秋冬の物語について、スライド写真を見ながらお話ししたいと思います。	
第 4 回 11/14	多様性の生物学よもやま話4 里山内では、動植物が数百年間変わらずに相互関係を維持しながら、ヒトとも関わりを持ちつつ暮らしています。初冬にその様子を覗いてみましょう。[「尚綱の森」散策：雨天変更]	
第 5 回 11/28	高嶺の花の秘密 高山植物は氷河期から自然破壊まで地球の歴史を記憶しています。スライドで月山の花々を眺めながら、語り部に耳を傾けます。	